

本の魅力を
全力でアピール



7月30日、市中央公民館で「第4回鹿屋市高校生ビブリオバトル大会」が開催されました。ビブリオバトルとは、発表者がおすすめ本を紹介し、参加者が読みたいと思った本に投票してチャンプ本を決める大会のこと。同大会には市内5校から9人が参加し、チャンプ本には出口謙介さん(鹿屋高校2年)が紹介した「午前0時の忘れ物(赤川次郎著)」が選ばれました。

大鼓の響きを
全国の舞台で



7月28日、鹿屋農業高校和太鼓部と関係者が市役所を訪れました。これは、8月に行われる「第46回全国高等学校総合文化祭東京大会」に同部が県代表として参加することに伴い行われたもの。上玉利美校部長は、「コロナ禍で練習が思うようにできないこともあった。夏休みにたくさん練習したので、その成果を全国の舞台上で発揮できるように頑張りたい」と抱負を語りました。

杉薫る木目美しい
木製品を寄贈



7月7日、大隅森林組合から木製品100セットをいただきました。これは、地域木材に親しんでもらうとともに、日頃の感謝の意を込めて同組合が県と大隅地域の2市4町に用箋ばさみ(バインダー)とペン立てを贈ったもの。鹿屋市内の製材会社が加工し、組合職員が組み立てを行った本製品の加工の様子は、大隅森林組合ホームページで見ることができます。



かのやのホットな話題をお届け!

安全安心を消費者
にアピール



8月1日、かのや茶GAP推進部会の工場10件がGLOBALG.A.P.認証を受けたことに伴い、関係者が市役所を訪れました。GLOBALG.A.P.とは、安全性や環境保全などに配慮した持続的な生産活動を実践する企業などに与えられる国際基準。市内の茶業振興のために認証取得に取り組んできた同団体の池田三郎会長は「認証を通過点として、今後の茶業振興につなげていきたい」と語りました。

一つひとつ丁寧に
だっきしよ収穫



7月31日、国立大隅青少年自然の家で落花生の収穫体験を行いました。これは、鹿屋青年会議所主催の「おおすすめハイセンスキャンプ」の中で、菅原地域づくり協議会が耕作放棄地を活用して企画したもの。台風接近により、屋内であらかじめ掘り出した株から落花生を外す作業を小中学生32人が体験。野口琉聖さん(寿北小4年)は「作業は大変だったけど、塩ゆでがおいしかった」と話しました。

地元音楽家による
心温まるステージ



7月16日、リナシティかのやで「音YUZURI Classic Concert VOL.2」が行われました。大隅半島を中心に活動する演奏家と地域住民をつなぐために結成された「音YUZURI」が主催するコンサートの第2弾。昼と夜の部の2部構成で、昼の部は子どもも楽しめる楽曲でプログラムされており、子どもたちが体を揺らしたり手拍子をしたりして楽しむ様子が見られました。

子ども会のシンボルに「にこちゃん」



7月13日、市役所で鹿屋市子ども会シンボルキャラクターコンテストの表彰式がありました。本コンテストには市内の小中学生から405点の応募があり、バラと魔法を使って鹿屋に笑顔を届けるイメージで描かれた中塩屋かすみさん(鹿屋東中3年)の、「にこちゃん」が大賞を受賞。今後は子ども会の広報や活動の場におけるシンボルとして活用されます。



学びや遊びが詰まった
恐竜展を楽しむ

7月30日～8月14日、リナシティかのやで「恐竜らんど」が開催されました。同展では、恐竜をテーマに触れる化石やVR(仮想現実)の技術を使った迫力ある映像を見ることができ、参加者は恐竜の魅力を感じていました。



恒久平和を願って
パネル展示

8月2日～19日、市役所1階市民ホールで「原爆写真及び平和パネル展」が行われました。これは恒久平和実現を願って毎年実施しているもので、訪れた人々は真剣な表情で原爆などに関する写真や絵などの資料を見ていました。



男女共同参画社会の
実現を目指して

7月25日～31日、県男女共同参画週間に合わせて市役所1階市民ホールで各種アンケートの結果などに関するパネル展が行われました。また、期間中には生理用品を配布する「チア・トイレ」が市役所と市立図書館で開設されました。



鹿屋市の観光発展
への功績を評価

7月20日、NPO法人ローズリングかのやが鹿児島県観光連盟の「令和4年度観光事業功労者等表彰」を受賞したことに伴い、関係者が市役所を訪れました。同団体は、市花であるバラを生かしたまちづくりの推進により観光客を多く誘致するなど多方面で活躍。落合ひとみ理事長は「長く続けたご褒美。これからも鹿屋のまちを観光の面で盛り上げていきたい」と受賞の喜びを語りました。



ふるさとの川を
きれいに保つ

7月17日、下祓川樋渡橋から吾平町馬込橋までの肝属川流域で「第39回肝属川クリーン作戦」が開催されました。これは、潤いのあるきれいな肝属川を守ろうと行っているもので、今年は3年ぶりの開催。当日は周辺の町内会や各種団体など985人が参加し、肝属川沿いに落ちていたペットボトルなどのごみ拾いや周辺の伐採を行い、約255kgのごみを回収しました。